

多くの学校で退庁時間が遅くなっている。勤務時間が守られていない。校長会等でも指導すること。更に、多忙化解消を進めること！ 組合



発行所
三豊教育会館内
香教組三豊支部
編集人情宣部
TEL 0875-25-3761
<http://www.niji.jp>
/ home/kazuo-t
/ mitoyosibu1

8月1日、香教組三豐支部（高嶋正三支部長）は、香教委西部教育事務所（大谷所長補佐）に、夏季休業中の勤務条件改善と多忙化解消等のための要求行動をしました。

多忙化を解消し、働きやすい職場づくりをすすめていこう！

障して欲しい。

組合 以前に比べ行事が精選されつつある。また、宿題・レポートを課す研修も減ってきている。この点は評価している。更に行事を増やさず、減らすこと。ただ、今年は香川県特別支援講演会（8月8日）が入っている。行事をもたない日になっているのにお

交渉する三豊支部代表 仲多度合同庁舎8.1

大谷所長補佐



《夏休みの勤務について》

教育公務員には教育公務員法 21・22条に基づき、自宅研修が認められており、積極的に活用するよう指導すること！

夏季休業中の行事を大幅に精選すること。8月7日～16日は教育事務所として行事をもたない期間になっているが、各校も行事をもたないよう指導すること。

組合 夏休みぐらいは、自分がやりたい研修ができるよう保

一学期分の超過勤務の回復措置（割り振り）が十分にできない状況もある。更に多忙化解消（行事精選）に関して取り組んで欲しい。

民間教育研究団体主催の、各種教育研究集会の参加は、研修または出張扱いにするものと。

「講師」には、特に自主研修の時間が十分保障されるよう、指導すること。

組合 講師の採用試験学習
 に関して、応援したり指導し
 たりしてくれる校長もいる。
 有り難い。ただ、校長によつ
 て個人差があるので校長会等
 でも配慮してくれるよう指導
 ・お願いして欲しい。

☆☆ 適正な勤務のわりふりとは ☆☆

ア 終始時刻とその間の休憩の配置をわりふること。

イ 全員に（少なくとも当該職員）にわりふりを明示すること。

ウ ア・イは事前（少なくとも前日まで）に明示すること。

《勤務時間について》

各学校に、勤務時間を明示させ、勤務時間を守らせること。

超過勤務については、必ず「わりふり」を行うようにさせること。

組合 多くの学校で退庁時間が遅くなっており、勤務時間が守られていない。校長会等でも、更に指導して欲しい。中学校では、部活動指導後に職員室へ戻り仕事を再開しているのが遅くなっている。一日の勤務時間は決まっている。適正な時間に帰れる

よう管理職がリードし学校全体で取り組むよう指導して欲しい。例えば、22時まで残って仕事をした先生を単に誉めるだけの管理職では無責任である。「体をこわさないように早く帰りなさい・・・。」等の体を気遣う一言も必要である。

組合 三観地区において、修学旅行の割り振りをしない学校がほとんどなくなっている現状は評価できる。修学旅行や宿泊学習において、一日分あたりの割り振りを、小学校では3時間程度、中学校では4時間程度出す学校が多いが、実際には一日あたりの超過勤務は8時間以上している学校が多い。適正に回復措置を講じるべきである。特に、

こと。
明示すること。
すること。



小学校の3時間程度は早急に改善するべきである。

組合 回復措置（割り振り）
 に関して、未だに口頭でしている学校があると聞いた。そのような曖昧なものではなく、最低でも管理職が**回復措置（割**

り振り)を表にして長期休業中の勤務予定表と同時に明示するべきである。また、回復措置(割り振り)が不十分な学校がある。公務員の公平さから言って問題がある。校長会でも確認・指導して欲しい。

組合 中学校で部活動の終了時間が遅い学校がある。何

とかないか。

組合 ある中学校では、六・七月の部活動終了時間が19時であったが、現在の校長が赴任してきた際に、「六・七月の部活動終了時間が19時というのは長すぎる（遅すぎる）。

19時から下校すれば、自宅の遠い子どもは家に着くのが大方20時近くになる。改善が「要だ。」として、校長の提案で、六・七月の部活動終了時間を30分繰り上げ18時30分とした。このことにより、生徒の交通安全が保たれ、学習への集中も上がった。また、少しでも早く帰ったようである。このような管理職のリードは有り難い。

小学校の記録会の練習、及び自治体からの持ち込み行事・作品募集について、実態を把握し、多忙化解消のための方策を示すこと。

組合 教材開発研修や教科
研修などは担当者や理事の負
担が大きい。参加者によって、
「良かった」という声もある
がそうでない声も多い。また、
年度末に研究まとめの冊子を
作成するが誰も読まない和不
評である。やめたらどうか。

※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※
これらの組合の要求に対して香教委西部教育事務所（大谷所長補佐）は次の様に回答しました。

所長補佐 要望は、所長や
県に伝えたり、検討したいと
思う。